

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表（要旨）

平成25年9月30日現在

（単位：千円）

科目	金額
資産の部	
流動資産	26,035,050
固定資産	7,264,482
有形固定資産	4,004,277
無形固定資産	118,189
投資その他の資産	3,142,015
資産合計	33,299,533
負債の部	
流動負債	14,232,344
固定負債	726,502
負債合計	14,958,847
純資産の部	
株主資本	18,348,410
資本金	5,195,057
資本剰余金	5,087,248
利益剰余金	8,447,645
自己株式	△ 381,541
その他の包括利益累計額	△ 12,809
その他有価証券評価差額金	228,210
為替換算調整勘定	△ 241,020
少数株主持分	5,085
純資産合計	18,340,685
負債・純資産合計	33,299,533

※記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書（要旨）

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

（単位：千円）

科目	金額
売上高	22,498,049
売上原価	20,474,254
売上総利益	2,023,794
販売費及び一般管理費	2,122,041
営業損失(△)	△ 98,246
営業外収益	151,584
営業外費用	64,080
経常損失(△)	△ 10,742
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 10,742
法人税等	△ 5,011
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 5,731
少数株主利益	494
四半期純損失(△)	△ 6,225

※記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

会社概況

商号	大成温調株式会社
本社	〒140-8515 東京都品川区大井一丁目47番1号 TEL.03(5742)7301(代) FAX.03(5742)4551
創業	昭和16年4月3日
設立	昭和27年12月22日
資本金	51億9,505万7,500円
従業員の状況 (平成25年9月30日現在)	664名
役員の状況 (平成25年10月1日現在)	代表取締役会長 水谷大介 代表取締役社長 山口隆義 取締役副社長 中尾信雄 専務取締役 仲吉弘一 専務取締役 但野光吉 常務取締役 中村恭三 常務取締役 志村和昭 常務取締役 水谷憲一 取締役 吉野利幸 取締役 佐藤正夫 常勤監査役 宇川一夫 監査役 杉山博康 監査役 大久保和正

(注) 監査役杉山博康氏および大久保和正氏は、社外監査役であります。

当社ホームページのご案内

<http://www.taisei-oncho.co.jp/ir/>

当社のより詳細な最新情報は当社ホームページに掲載しております。事業や業績など、株主の皆さまに当社をより深くご理解して頂くためのコンテンツも揃えておりますので、是非、ご覧下さい。



株式の状況 平成25年9月30日現在

- 発行可能株式総数 ……………55,000,000株
- 発行済株式の総数 ……………14,364,975株
- 株主数 …………… 1,931名
- 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
アミー・コーポレーション(株)	2,686千株	20.5%
大成温調取引先持株会	1,607	12.3
水谷日出夫	1,112	8.5
河村和平	803	6.1
大成温調従業員持株会	769	5.9
UBS AG LONDON A/C IPB SE GREGATED CLIENT ACCOUNT	187	1.4
小川恭弘	182	1.4
青木錠衛	180	1.4
和田ふみ子	150	1.1
(株)みずほ銀行	146	1.1

(注) 上記のほかに自己株式(1,279,734株)を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
中間配当	中間配当を行う場合には9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告の方法により、当社ウェブサイトに掲載して行います。ただし、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

※その他ご不明な点は、上記の三井住友信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。

2014 BUSINESS REPORT

第63期 中間報告書 2013.4.1~2013.9.30



人の呼吸に
もっとやさしく

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、日ごろから格別のご支援、ご愛顧を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

ここに当社第63期上半期の業績についてご報告申し上げます。

我々の関連する建設業界の経営環境は、永年にわたり多くの不安要素が存在しており、閉塞状況が続いてまいりましたが、9月の東京オリンピック開催の決定を受けて、ようやく好転の兆しが見えてまいりました。

建設業界のみならず日本経済全体にとっても大きなチャンスであるのはもちろんですが、こうした機会だからこそ、経営基盤の地固めを行い、時代の要請に柔軟に対応できる体制を整えておくことが肝要と考えております。

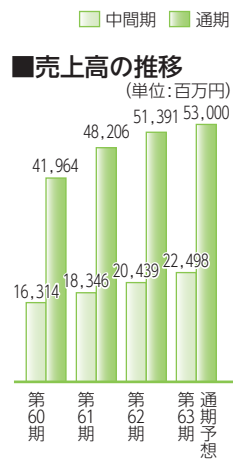
6月に当社グループは、ベトナムの大手空調設備会社と業務・資本提携を行いました。また、9月にはメガソーラー発電事業への新規参入を表明いたしました。いずれも、当社がかねてから進めている海外市場の開拓、および環境事業の展開の延長線上に位置しております。常に取り組みべきテーマの先を見据えながら、着実に地歩を固め、全社一丸となって業績の向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長 水谷 大介
代表取締役社長 山口 隆義

財務ハイライト (連結)



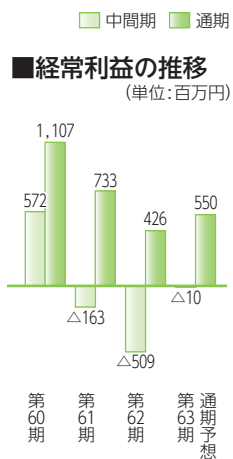
売上高

22,498百万円

前年同期比2,058百万円増 (+10.1%)

ポイント

売上高は、大成温調個別においては前年同期に比べ若干減少しましたが、米国、中国の子会社において前年同期比大幅増等により、前年同期10.1%増の224億98百万円となりました。



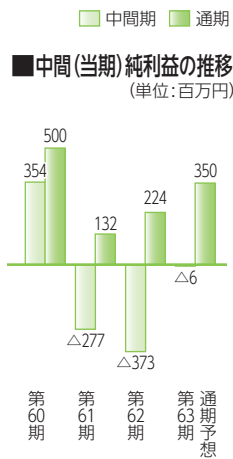
経常利益

△10百万円

前年同期比498百万円利益増

ポイント

経常損失は、前年同期は多額の工事損失引当金を計上したこと等により、売上総利益率は6.5%でしたが、当中間期は売上総利益率が改善し9.0%となったこと等により、10百万円（前年同期は経常損失5億9百万円）となりました。



中間(当期)純利益

△6百万円

前年同期比367百万円利益増

ポイント

中間純損失は、当中間期は特別損益の計上は無く、法人税等を計上(△5百万円)し、少数株主利益(0.4百万円)を控除した結果、6百万円(前年同期は中間純損失373百万円)となりました。

トピックス

ベトナム大手設備工事会社と業務・資本提携

6月13日、大成温調グループの海外展開の一環として、ベトナムの大手空調・給排水衛生工事および電気設備工事会社、シーレフィコ社(正式名称「シープロデックス冷蔵工業株式会社」)の発行済株式20%を取得することに合意し、業務・資本提携を行うための関連契約を締結しました。

今回の提携は、現地の設備工事の大手企業の株式を取得し、大株主として現地の経営に参画するという、新しいビジネスモデルとなります。

シーレフィコ社の持つベトナム国内競争力と、大成温調グループの日系案件の対応力を掛け合わせ、長期的な戦略的パートナーシップを構築していきます。

今後はマネジメンティック立場から、提携先の企業価値を高めるべく、両社共同による人材育成や、日本からの技術提供、調達網の共有などに努め、日本、ベトナム一体となって事業展開していく考えです。



8月にホーチミン市にて行われた調印式典の様相

メガソーラー発電事業の参入について

当社は長年にわたり、環境事業の一環として、地中熱など再生可能エネルギーの有効活用に取り組んでおりましたが、2012年7月に再生可能エネルギーの固定価格買取制度が施行されたことを踏まえ、今般自社にてメガソーラー発電事業に取り組むことといたしました。

その第一号として、埼玉県本庄市に、2014年3月運転開始を目指して、発電規模1,000kW(1MW)の太陽光発電所(愛称名:ペンギンメガソーラー発電所)を開設し、年間140万kWhの発電を目指します。

当該事業参入を契機に、当社では更なる発電所の増設を進めると共に、メガソーラー技術のノウハウの一層の蓄積を図り、提案型営業を推進してまいります。既に本年4月、地球環境の保全、エネルギー資源の確保に貢献すべく、新たに電気事業本部を創設しており、設備工事全般にわたる省エネルギー事業の拡大に取り組んでまいります。



太陽光発電所 施工事例
2013年7月、群馬県に設置。発電規模49.9kW